

2014年度 「ここほれわんわん」  
会員様 特別情報  
花研カレンダー内の  
バブルチャートの見方について

ワタンが  
解説します！

解説：ピンクのわんわんお姉さん



株式会社 大田花き花の生活研究所



## 花研カレンダー新企画「取扱い実績」バブルチャートの見方について

ピンクのわんわんお姉さん  
です。  
私がお説明します！



2014年4月（2014年2月掲載）より、  
花研カレンダーの掲載企画が変わります。（毎年  
企画を見直しています）

本年は品目ごとに過去10年間の取引データに基づく実績をバブルチャートで掲載することにいたしました。  
その見方について、“ピンクのわんわんお姉さん”が解説いたします。

### 1. 「花研カレンダー」はどこに掲載されているの？

まずは花研カレンダーを開いて見ましょう。

IDとパスワードを入力していつものように[ログイン](#)します。

次に「[花研カレンダー](#)」をクリックしてください。

花情報提供サービス  
**ここほれわんわん**

花の生活研究所 様 ID:00204199 [# -] [ログアウト](#)

【おしらせ】  
・花研カレンダー2014年3日をアップいたしました（2013.12.25）NEW  
<中略>

■ 大田 花き市況メニュー

- 品目別実績
- 国産輸入比較 **New!**
- 色別実績
- セリランキング
- 販売店カテゴリ実績
- 入荷実績
- データ状況
- 操作説明

■ 大田 鉢物平均

- 入荷情報
- 市況情報
- 大田切花平均
- 週間予報
- お知らせ
- OLIVEへログイン

■ 花暦カレンダーメニュー

- 花カレンダー**

■ 花研発信わんわん特別メニュー

- わんわん会員様限定情報

次に、下のような画面が表示されますので、**2014年4月以降の月**を選んでクリックしてください。

※その月の2か月前のアップロードを目途としています。掲載期間は1年間です。

## 花暦カレンダー by 大田花き花の生活研究所

**2014年4月以降の月**を選ぶ。



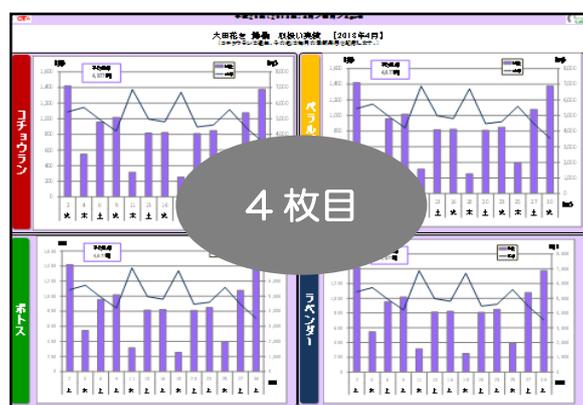
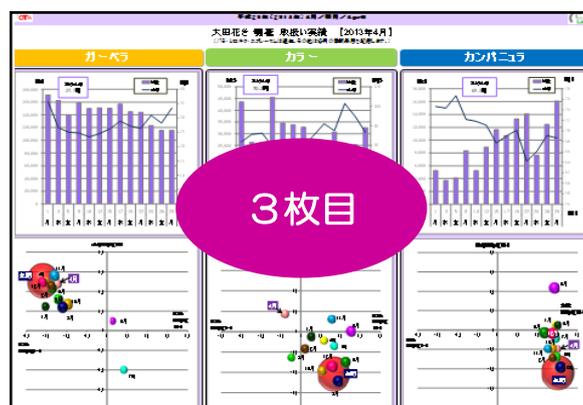
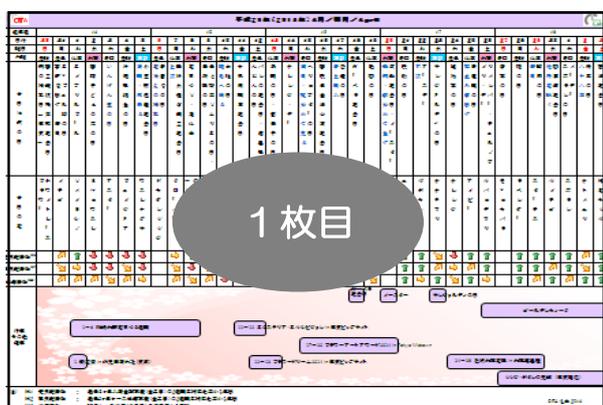
### 2013年

[2013年01月](#)   [2013年02月](#)   [2013年03月](#)   [2013年04月](#)   [2013年05月](#)   [2013年06月](#)  
[2013年07月](#)   [2013年08月](#)   [2013年09月](#)   [2013年10月](#)   [2013年11月](#)   [2013年12月](#)

### 2014年

[2014年01月](#)   [2014年02月](#)   [2014年03月](#)   [2014年04月](#)   [2014年05月](#)   [2014年06月](#)  
[2014年07月](#)   [2014年08月](#)   [2014年09月](#)   [2014年10月](#)   [2014年11月](#)   [2014年12月](#)

すると、花研カレンダーが開きます。このうち、**2枚目と3枚目**に今回解説するバブルチャートがあります。

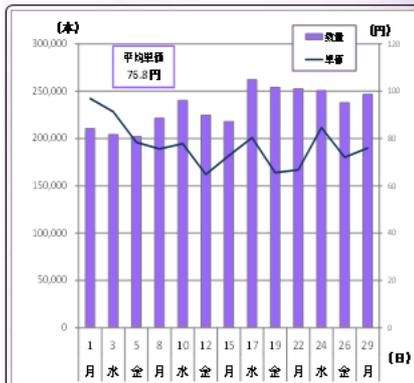


※ページ内最下部のアイコンをクリックすると、PDFで印刷できます。

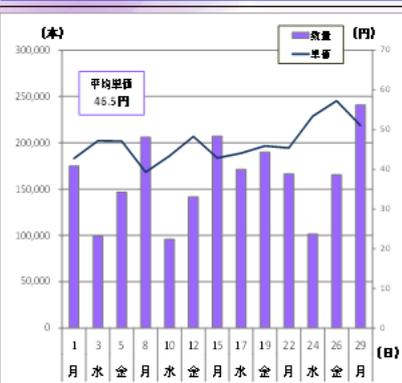
2枚目と3枚目のうち、下段にあるグラフをバブルチャートといい、今回はこのグラフについての説明をさせていただきます。

大田花き 切花 取扱い実績 【2013年4月】  
(バラ・シロギク・スプレーマムは通年、その他は各月の季節品目を記載します。)

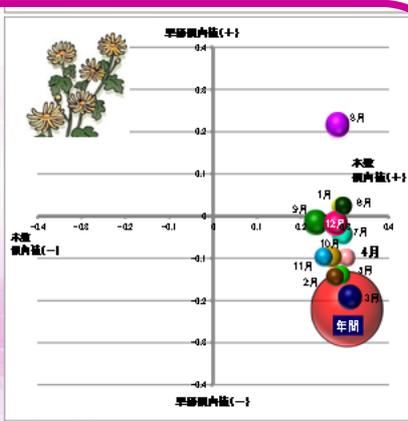
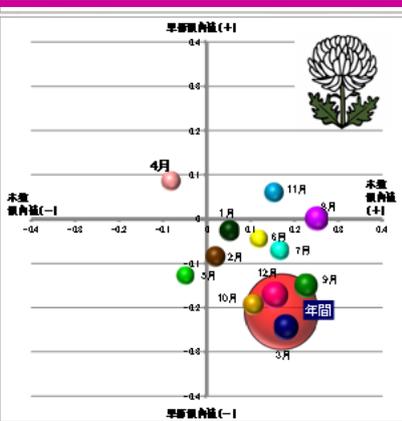
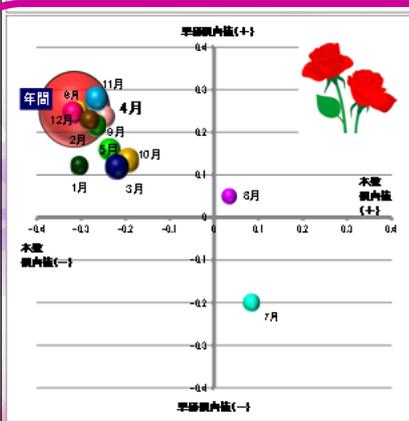
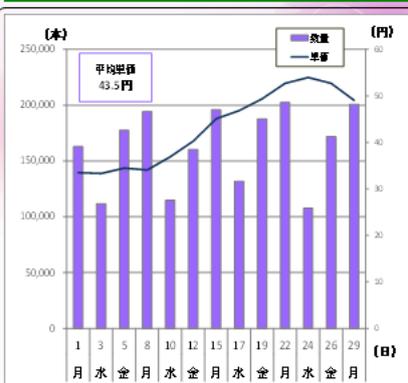
バラ



シロギク



スプレーマム



バブル(泡)のようなグラフで示す  
 ことから、**バブルチャート**  
 といいます。



ここで「バブル」といえば、グラフ内にある丸い円を指します。

## 2. 何を意味しているの？

では、ここからいよいよバブルチャートの見方をご説明していきます。

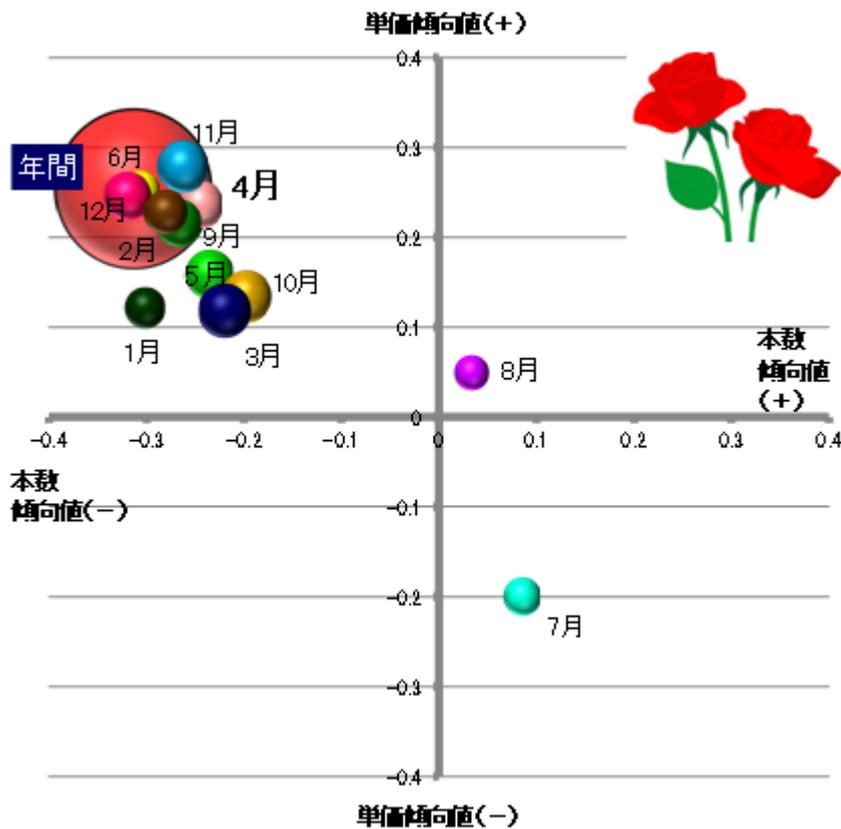
ここに掲載されているデータは、全て**大田花きの過去 10 年の取引実績**を元としています。

品目ごとに過去 10 年間の単価と取扱数量推移を偏差値化し、傾向値をチャート内にプロットして（グラフ内にバブルを置いていくこと）しました。つまり、これを見れば**過去 10 年間、その品目が実需者にどのように評価されてきたか**を見ることができるということなのです！

さらに・・・！

- ① 月別（小さいバブル）
- ② 年間（大きいバブル）

で分析し、どの月に出荷チャンス、あるいは購買チャンスがあるのかを探るヒントとしました。



### 3. どうやって見るの？

まずは軸の説明から。

このように、

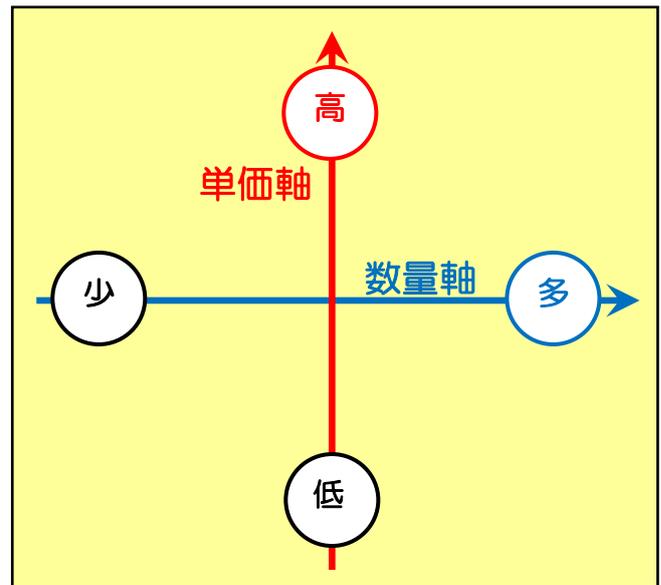
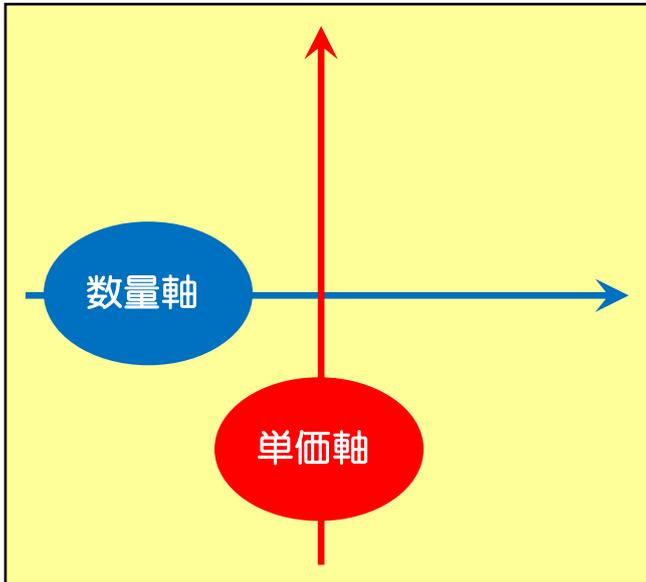
タテ軸が単価軸

ヨコ軸が取扱数量軸となります。

見方はカンタンです！

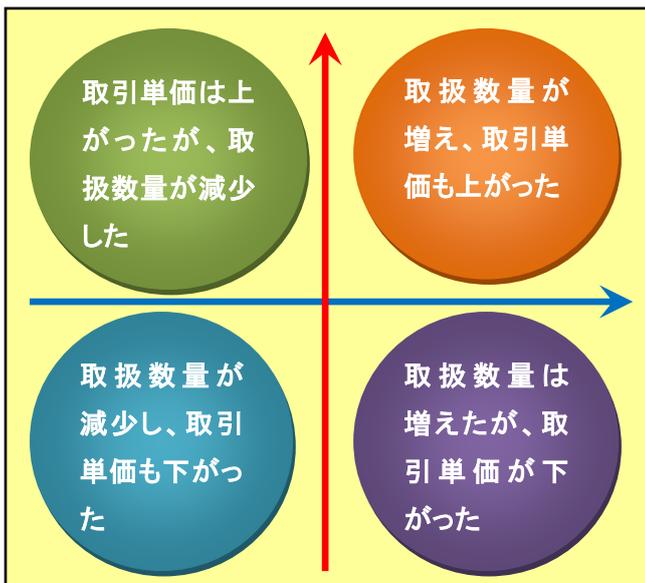


タテ軸は上に行くほど単価が高い、  
横軸は右に行くほど取扱数量が多い  
ということを意味します。



つまり、4つの領域をざっくりと分けると、

このようになるわけです。



バブルの大きさは過去 10 年間の平均取扱金額（マーケットサイズ）を示しています。

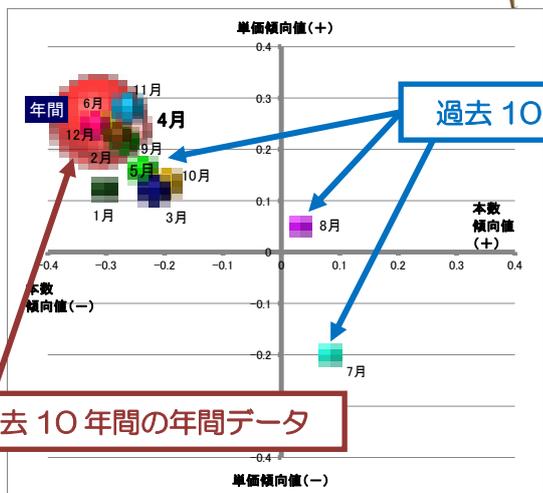
つまり、バブルが大きい方がマーケットサイズが大きいということになります。

（偏差値化していますので、品目をまたいだ場合はその限りではありません。あくまでも一つのチャートの中で、ということになります）

#### 4. どう理解したらいい？

バラを例に取って見てみましょう！

こちらは**バラ**のバブルチャートです。



##### <月別>

小さなバブルが過去 10 年間の月別の実績を示しています。上半分にプロットされている場合は、取引単価出荷を確保しやすいので、出荷のチャンスかもしれません。(出荷する年の状況を総合的に判断してください)

本数供給型の産地さんは、右半分にプロットされているときに出荷されると、安定して需要を確保できるでしょう。

月別の需要動態とご自身の作型を考慮して、データを活用してください。あるいは品種によっても販売戦略が異なりますので、言いきれないところもあります。あくまでも品目の大まかな傾向を示しています。

##### <年間>

赤い大きなバブルが過去 10 年間にけるバラの総合実績を示しています。

品目としてマーケットの中でどこにポジショニングしているかを見て取ることができます。



…重要！…

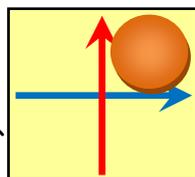
### 「年間」でその品目がどこにプロットされているかを確認しましょう

→これが、その品目が過去 10 年の取引傾向です。

ここからはご提案ですが、どこにプロットしているかで以下のことが必要と考えます。

#### ★右上にプロットされている。

取引数量が増加傾向の上、単価も上昇傾向ということですから、マーケットの中でも花形品目と



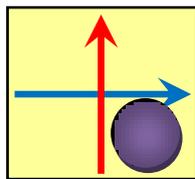
言えるでしょう。しかし、どの品目も永遠にこの位置にいるものはなく、今後は右下か左上に移動する可



能性もあることから、いかに今の位置を維持するか、また移動したときにはどうするか、次の対策を考えてはいかがでしょうか。

**★右下にプロットされている**

単価は下落傾向ですが、  
取引数量は伸びているので、  
生産コストを下げることで

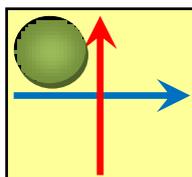


顧客満足度を高め、マーケットサイズを維持することができるのではないのでしょうか。

生産コストを下げることは容易なことではありませんが、実際に単価が下がってきているわけですから、生産者の皆さまの手取りを確保するためには、必要不可欠かと思われます。

**★左上にプロットされている。**

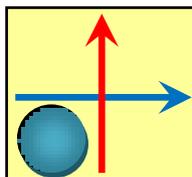
左上は以前人気商品だった可能性が  
高い品目です。マーケットのパイを  
他の品目に奪われ始めている可能性



があります。少なくとも単価は下げ止まっているので、いかにイメージチェンジ戦略を図るかがポイントです。低価格競争から脱却できている強みを生かして、プロモーションに力を入れていきましょう。

**★左下にプロットされている。**

ライバル産地と競争している場合  
ではありません。ここ 10 年で  
他の品目にパイを取られてしまって



います。今すぐにライバル産地と手を取り ヨコの連携を強化し 品目全体の底上げに力を入れていきましょう。

---

バブルチャートの見方に関する説明は以上です。

花研カレンダーへの掲載は、バラ・シロギク・スプレーマムは年間固定で、またそのほかに各月の旬の切花を 3 品目ピックアップして掲載して参ります。



皆様のご興味のある品目は過去 10 年でどのような実績だったのか、ご参考としてご利用いただくと幸いです。





## まとめ:バブルチャートの見方



★バブルチャートは**大田花きの過去 10 年間の取引データ**に基づく！

★**4つに区切られたエリア**のどこにバブルが置かれているかを見るべし！  
タテ軸は単価(上に行くほど成績良)、横軸は数量(右に行くほど多い)を示す。

★「**月別**」に見た場合、上半分にあるバブルが置かれている月に出荷すると、  
生産者さんとしてはチャンス大！

★「**年間**」のバブルを見た時に、右上にあればまずまず、右下は生産コストの  
削減が急務、左上はプロモーションに力を入れる、左下は全国の生産地が  
ライバルとすぐに手を組み、ヨコの連携活動を実践すべし！

★バラ(スタンダード&スプレー)とシロギク、スプレーマムは**周年固定品目**として  
掲載(バブルチャートの数字は変わりません)、そのほかに**旬の切花品目 3つ**を  
各月でピックアップします！



【データの見方に関するお問い合わせ】

株式会社 大田花き花の生活研究所

TEL 03-3799-5578 EMAIL [hanaken@otalab.co.jp](mailto:hanaken@otalab.co.jp)

